





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	豊明市
②人口（※１）	６８，３７２人（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	６５歳以上 ２２．２２％（ ） ７５歳以上 ９．１６％
① 取組の概要	在宅医療・福祉統合ネットワーク「いきいき笑顔ネットワーク」連絡協議会 在宅医療関係機関や福祉サービス機関、行政を結ぶＩＣＴシステム「いきいき笑顔ネットワーク」を整備。在宅療養高齢者の個別支援に関するリアルタイムの情報を連絡帳システムで支援関係者が共有できるようにしている。また、その活用に関する連絡協議の場として「いきいき笑顔ネットワーク連絡協議会」を設置している。
⑤取組の特徴	医師会だけでなく、歯科医師会・薬剤師会や行政といった多機関・多職種の連携体制が整備されてきていることが大きな特徴。 また、各地域で整備されている電子カルテと違い、あえて簡易なフォーマットとして、どんな職種でも共有できる電子連絡帳としたことが特徴。
⑥開始年度	平成２３年１０月
⑦取組のこれまでの経緯	愛知県医師会からの働きかけで、平成２２年度末から試行的導入。平成２３年１０月に正式導入。平成２４年度末に歯科医師会・薬剤師会との連携調整がすすみ、今年度正式に加入。それに伴い、愛知県医師会による経費補助から３師会と行政の４団体による経費負担へと切り替える。
⑧主な利用者と人数	豊明市内の在宅療養高齢者 １００件程度
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	東名古屋豊明市医師会、愛豊歯科医師会豊明支部、豊明市薬剤師会、藤田保健衛生大学病院、市内訪問看護ステーション、豊明市社会福祉協議会、地域包括支援センター、名古屋大学附属病院脳卒中医療管理センター、愛知県医師会社会福祉専門委員会、（株）中部テレコミュニケーション
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	「いきいき笑顔ネットワーク」連絡協議会への参加。システム運用。活用率の向上に向けた関係機関との調整など。 今年度はネットワークシステム経費負担もしていく。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	愛知県から愛知県医師会に対する保健医療福祉連携システム推進費補助金を活用。
⑫取組の課題	・システム導入に関する多機関・多職種の連携体制については、先進的に取り組みをすすめているが、更なる活用率の向上に向けて、運用ルールづくりや各関係機関の活用意識の変容に向けた取り組みが必要。 ・国レベルでも協議されている介護支援専門員のスキル向上への取り組みは喫緊の課題。それとともに、医療関係者の福祉制度への理解向上も必要。
⑬今後の取組予定	・現在のシステムの利用拡充をすすめる。 ・独居高齢者に生体反応センサーを配布、そのデータ管理を「いきいき笑顔ネットワーク」で行うことで、見守り・安否確認に活用する。





⑭その他	同様のネットワークシステムを長久手市でも導入。津島市でも導入予定。
⑮担当部署及び連絡先	豊明市役所 高齢者福祉課 地域ケア推進係 TEL 0562-92-1261 FAX 0562-92-1141

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

